

「産業技術記念館」を訪ねる

今年度の社会調査実習のテーマは「名古屋のまちづくりと観光」である。これには「わけ」があるが、それはさておき、8人のメンバーにより調査が進みつつある。資料や統計の検討、名古屋市観光推進室や名古屋観光コンベンションビューローのヒアリングなどをもとに、主な観光施設で観光客へのアンケート調査を実施することになった。アンケート調査の事前打ち合わせのため、トヨタテクノミュージアム「産業技術記念館」を久しぶりに訪ねた。

記念館のHPによると、設立の目的は「研究と創造の精神」と「モノづくり」の伝承、そして産業遺産の保存と活用である。明治44年、トヨタグループの創始者・豊田佐吉が「豊田自働織布工場」をこの地に開設した。トヨタグループ発祥の地であり、大正時代の赤レンガ造りの工場建屋がそのまま残されていたので、それらを貴重な産業遺産として保存し、産業技術記念館として活用することになった。トヨタグループの歴史や「世界のトヨタ」を知るうえで貴重な展示品が並んでおり、じっくり見学するとかなり時間がかかる。



広々とした敷地に赤レンガの工場建屋が整然と並ぶ景観は、なかなか風格がある。トヨタらしく駐車場もかなりのスペースである。写真に「観光ルートバス」の停留所が写っている。残念ながら平日は運行されていないが、名古屋の観光を活性化するうえで、アクセスの整備・充実が望まれる。

(2006年8月22日 記)